

東ティモールのこれから ～独立記念日に 日本と東ティモールで考える～

今年、東ティモールは大きな転換期を迎えます。2011年から加入を目指していたASEANへ参加の道筋が見えた一方で、これまで国家財政を支えてきた油田、ガス田の枯渇はいよいよ現実的なものとなりました。

独立から21年目。国づくりが思い描いていたとおりに進んでいると言い難い現状に昨今では若い人たちの政治に対する興味も薄れてきているといわれています。特に産業の多角化は声高に唱えられてきたにもかかわらず進まず、働き場所を求め、外国に出稼ぎに行く人は増える一方です。

パルシックは、グローバル化の進む21世紀に多くの犠牲を払って独立を果たした東ティモールが、自立した経済基盤をもつことを目指し、2002年からコーヒー生産者協同組合とのフェアトレードに取り組んできました。その過程で、国内に就業の機会を創り出そうと奔走する新しい世代の東ティモールの人びととの出会いもありました。

イベントでは、東ティモールから帰国中の伊藤淳子から東ティモールの現状を報告するとともに、現地で起業し、ビジネスに挑戦する東ティモールの若者たちと日本をつなぎます。東ティモールが直面する課題に、未来を担う若者たちはどう向き合おうとしているのか。話を聞き、共に考えます。



日本



東ティモール

開催概要

日時：2023年**5月20日（土）** 13:30～15:45
(オフライン会場のみ終了後、交流会 ～ 16:15)

会場：ハイブリッド開催

- ① オンライン会場：Zoom
- ② オフライン会場：RYOZAN PARK 巣鴨 THE WHITE ROOM
(東京都豊島区巣鴨1-9-1 グランド東邦ビルB1F)

参加費： ①オンライン会場：一般 800円 / パルシック会員・学生 500円
②オフライン会場：一般 1,000円 / パルシック会員・学生 500円

内容（予定）：

東ティモールの現状報告 ASEAN加盟や国民議会選挙、東ティモールと日本をつないでトーク

スピーカー



伊藤 淳子
(パルシック 東ティモール事務所代表)

2001年から東ティモールへコーヒー調査に訪れ、2002年からパルシックのコーヒー生産者支援事業に従事。2017年からパルシック理事、東ティモールコーヒー協会理事。



ジョアニーニャ・E. カーラ・ゴディーニョさん

スアイ生まれの26歳。2015年にDili Institute of Technologyでビジネスマネージメントを専攻。2022年「ビジネス・イノベーション・チャレンジ」でトップ15に入賞し、デシリ市内に2店舗目のSkyra Coffee Shopを構える。



ドミンゴス・ペレイラさん

デシリ郊外のヘラで生まれ育ち、現在30歳。私立デシリ大学で英語教育学を専攻。農村地域で英語教育や社会活動を実施する青年ボランティアとして活動。2020年に友人とYouth Empowerment For Future (YEFF) を立ち上げる。



詳細・お申込
パルシックWeb

<https://parcic.org/events/22440/>